



レジデントのための 呼吸器診療マニュアル 第2版

河野 茂, 早田 宏 編

●A5 頁404 2014年
定価：本体4,700円＋税
[ISBN978-4-260-01865-4]医学書院刊

この度、『レジデントのための呼吸器診療マニュアル 第2版』が上梓された。「第2版の序」で、編集者のお一人である河野茂先生が、長崎大医学部の「如己博愛」を説かれ、さらに「ジェネラリストの基盤があってこそ呼吸器内科の専門性があると信じている」として基本方針をうたわれている。この方針に沿いつつのアップデート版である。

本書はAからEの5章構成になっている。「A 疾患・症状のマネジメント」では、A1で呼吸器診療全体の流れ、臨床推論の基本が述べられた後、血痰？市中肺炎に出あったら？など具体的臨床の問題についてフローチャートなどで簡潔に提示され、分担執筆の熟練指導医からのコツ・Tipsがちりばめられている。コラムのミニレクチャーも要領よく適切である。読者対象が呼吸器内科の専門研修医と指導医とされているが、他分野の医師や呼吸器病の理解を求める医療・医学教育関係者にも大変役立つ。

Bは「チーム医療のために」として、研修医に必須なプレゼンテーションやコンサルテーション、術前評価や呼吸ケアチームについての章である。ここに重要な横断的なスキルである、ノンテクニカル・スキルについての説明もある。これを書かれたのは、もう一人の編集者であり、執筆者としても広範囲を担当されたとお見受けする早田宏先生であるが、先生の医療安全へ

の強いコミットメントが感じ取れる。蛇足ながら「ノンテクニカル・スキル」とは、コミュニケーション、チームワーク、リーダーシップ、状況認識、意思決定など、認知的・社会的なスキルで、専門的な知識や技術である「テクニカル・スキル」と共に、現代チーム医療においては、安全や質の確保に欠かせないものである。この両者を交互にする、章立ての順序自体が本書のポリシーを語っている。

続く「C 基本的な検査のポイント」や「D 治療のアプローチ」の章も、図表が多くわかりやすい。また具体的で、重要点だけをわかりやすく、本当に歯切れよく述べていてクリアカットである。専門研修医には大変有用な情報であろう。ここまで洗練するには大変な苦労もあったのだらうと思う。最後に、再び早田先生が「E 臨床に役立つエッセンス」として患者中心の考え方、倫理、コミュニケーションについて要約を紹介し、結んでいる。

呼吸器専門研修医・指導医だけではなく、呼吸器の臨床に興味のある、他分野の医師・研修医にも本書を一読を強く薦めたい。というのは呼吸器病を題材にはしているが、そのテクニカルな領域と医療全般に必須なノンテクニカルな横断的な領域をお互いになぞりながら学べる、いわばdual textbookだからである。